

新渡戸稲造生誕150年と十和田市太素の水プロジェクト未来遺産登録記念
新渡戸稲造「世界への架け橋」 & 未来遺産「未来への架け橋」展

羽田空港ビッグバードでは、2012年3月11日より、第1旅客ターミナル2階において新渡戸稲造生誕150年記念「世界への架け橋」および十和田市太素の水プロジェクト未来遺産登録記念「未来への架け橋」展を開催いたします。

「日本の心」を温故知新の立場から見つめ直し、新渡戸稲造が世界に広めた「武士道」の心と、不毛の大地を緑に変えた十和田の「開拓精神」を100年後の未来に伝えるというテーマで、「世界への架け橋展」では新渡戸稲造が伝えた「武士道精神<北ウイングに展示>」、「未来への架け橋展」では「開拓精神<南ウイングに展示>」を、日本各地と航路を結ぶ羽田空港から全国に情報発信するため、新渡戸記念館と青森県十和田市の共催により展示することとなりました。（別紙をご参照ください）

新渡戸稲造生誕150年を迎え、稲造を育てた先祖の開拓の志を受け継ぐ市民による地域づくり活動は、日本ユネスコ未来遺産に登録されました。新渡戸稲造とその祖先が残した日本の心を感じていただければ幸いです。

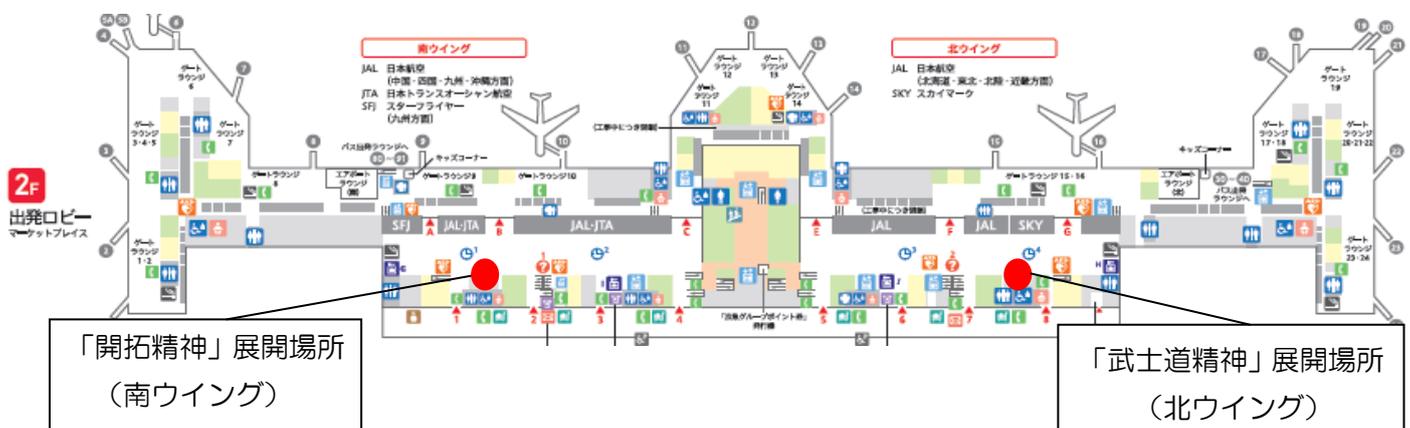
会 期： 2012年3月11日（日）～2012年4月11日（水）

場 所： 羽田空港第1旅客ターミナル2階 出発ロビー 北ウイング、南ウイング（2カ所）

主 催： 青森県十和田市、十和田市立新渡戸記念館

協 力： 公益社団法人日本ユネスコ協会連盟、太素の水プロジェクト

協 賛： 日本空港ビルディング株式会社



【本件に関するお問合せ先】

日本空港ビルディング株式会社 事業企画部 電話 (03) -5757-8075 (9:00~17:30) ※土日祝日除く。

【主な展示作品】

《南ウイング》



稲生川工具（レプリカ）

《上から なかづる（3kg）、てんばづる（1kg）ばんづる（6kg）》
穴堰（トンネル）の部分掘るための特殊な工具。



三本木開墾区域内略図（写し）

安政2（1855）年頃開拓地全体を記した開拓計画図。中央に引かれた黄色い線が稲生川の計画。



新渡戸傳（三本木原開拓の祖、稲造の祖父）
銅像写真

新制作派 小坂圭二 作（1958年）



稲生川ガイドマップ

稲生川の水源である十和田湖、奥入瀬の流れとそこから取水する稲生川の流路、おもな見学スポットを紹介。

《北ウイング》



新渡戸家に伝わる甲冑

《盛岡藩御具足師 菊池勇治作》

安政2（1855）年稲造の父新渡戸十次郎が着用したもの。

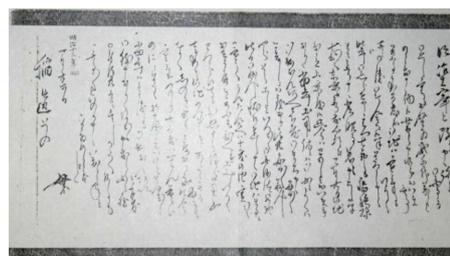


“Bushido -The Soul of Japan”

《（左）赤表紙：裳華房版（1900年発行）写真
（右）白表紙：増補第10版（1901年発行）》
1900年にアメリカで出版。



五千円札の基となった写真
56歳の時の稲造と万里夫人



稲造の母せきが19歳の稲造に送った手紙（写し）

《明治13年（1880）1月26日付》

せきは稲造が8歳の時に別れて以来会うことなく、この手紙を送った半年後に病没。（享年59歳）